

(第 29 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 6 年 1 月～3 月期)

今期の景況感調査では、回復傾向にあった前回の調査から一転、トラックの実働率や輸送数量等において停滞感が漂う低調な結果となった。

はじめに今期の実働率と実車率について見てみると、どちらも「やや上昇」との回答が減少し、「やや低下」との回答が増えている。特に実働率については 3 割以上の事業者が「やや低下」と回答しており、稼働していない貨物自動車が多いようであった。

次に輸送数量全体を見てみると、こちらも実働率・実車率同様、「やや増加」との回答が減り、「やや減少」との回答が増えており、貨物量そのものが減少しているようであった。「荷主の担当者からも受注状況が低調気味と聞いている(金属・鋼材輸送)」との声があるように、荷主の景況が悪いように見受けられた。

ドライバーの過不足の状況について見てみると、「ドライバーが不足している」との回答は減少し、「適当」との回答が増えている。輸送数量が減少した結果、一時的に「適当」と回答した事業者が増えているように見受けられた。

次に営業収入と営業利益について見てみると、どちらも「やや増加」との回答が微減し、「変わらない」との回答が増えていた。輸送数量が減少しているにもかかわらず、営業収入・営業利益どちらも大きく変化しておらず、貨物一つ当たりの単価が上がっているように見受けられた。

また、運賃・料金の水準について見てみると、「横ばい」との回答が増え、「やや上昇」との回答が微減している。「横ばい」との回答も 6 割を超えており、依然として多いものの、「やや上昇」との回答も見られ、堅調に推移しているようであった。

今期の水準について見てみると、「良い」と回答した事業者が大きく減少し、「普通」や「悪い」との回答が増加していた。前回の調査では「良い」との回答が 3 割を超えていたが今期の調査では 1 割を切っており、非常に厳しい結果となった。

最後に適正運賃の収受について調査したところ、標準的な運賃を提示している事業者が 22.4%、標準的な運賃を考慮した自社運賃を提示している事業者が 44.8%であった。なお、「運賃・料金」の改定における原価の反映について調査したところ、「人件費」と「燃料費」については 50%以上の事業者が反映できたと回答している一方、「車両費等の固定費」や「高速道路料金やフェリー料金等の実費」について原価を反映できたと回答した事業者は 20%から 30%に留まった。なお、「積込・取卸料」や「待機時間料」、「附帯業務料」について、原価を反映できたと回答した事業者は 20%以下であった。ドライバーの労働環境改善のためにも待機時間料や付帯業務料の収受について、より一層進めていく必要がある。

令和 6 年 5 月 1 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第29回）

令和6年1月～3月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	14 社	24.1%	51～100人	1 社	1.7%
11～20人	18 社	31.0%	101～300人	2 社	3.4%
21～30人	9 社	15.5%	301人～	1 社	1.7%
31～50人	13 社	22.4%	未回答	0 社	0.0%

2. 女性ドライバー数

58 社中 15 社 平均人数 3.7 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	9 社	15.5%	51～100両	4 社	6.9%
11～20両	22 社	37.9%	101～300両	0 社	0.0%
21～30両	9 社	15.5%	301両～	2 社	3.4%
31～50両	12 社	20.7%	未回答	0 社	0.0%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0 社	1 社	0 社
2. 生鮮食品	0 社	1 社	0 社
3. 加工食品	2 社	2 社	1 社
4. 飲料・酒	3 社	1 社	1 社
5. 原木・材木等の林産品	1 社	0 社	0 社
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	0 社	1 社	1 社
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	4 社	3 社	0 社
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	11 社	8 社	1 社
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0 社	0 社	1 社
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1 社	3 社	2 社
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0 社	0 社	0 社
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	2 社	0 社	0 社
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	3 社	2 社	2 社
14. 医療品	0 社	1 社	1 社
15. その他の化学製品	4 社	2 社	2 社
16. 紙・パルプ・印刷物	9 社	1 社	3 社
17. 糸・反物等の繊維素材	0 社	0 社	0 社
18. 衣類・布団等の繊維製品	1 社	0 社	0 社
19. 日用品	5 社	2 社	6 社
20. 引越荷物	0 社	0 社	0 社
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品	3 社	5 社	3 社
22. 機械ユニット・半製品	1 社	1 社	3 社
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	2 社	7 社	2 社
24. 家電・民生用機械	1 社	0 社	0 社
25. 完成自動車・オートバイ	0 社	0 社	0 社
26. 再生資源・スクラップ	1 社	0 社	0 社
27. 廃棄物	0 社	2 社	0 社
28. 宅配便・特積貨物	0 社	0 社	1 社
29. 空容器・返送資材	0 社	1 社	2 社
30. その他	3 社	4 社	7 社
31. 未回答	1 社	10 社	29 社

ドライバー人数	社数	割合
1～10人	14	24.1
11～20人	18	31.0
21～30人	9	15.5
31～50人	13	22.4
51～100人	1	1.7
101～300人	2	3.4
301以上	1	1.7
未回答	0	0.0

女性ドライバー	
人数	56
社数	15
割合	25.9
平均人数	3.7

保有台数	社数	割合
1. 1～10台	9	15.5
2. 11～20台	22	37.9
3. 21～30台	9	15.5
4. 31～50台	12	20.7
5. 51～100台	4	6.9
6. 101～300台	0	0
7. 301台以上	2	3.4
0. 未回答	0	0

事業内容	
特積み宅配	0
特積み宅配以外	0
一般	58
未回答	0

取り扱い品目	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0	1	0
2. 生鮮食品	0	1	0
3. 加工食品	2	2	2
4. 飲料・酒	3	1	1
5. 原木・材木等の林産品	1	0	0
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	0	1	1
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	4	3	0
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	11	8	3
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0	0	0
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	1	3	0
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0	0	1
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	2	0	0
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	3	2	1
14. 医療品	0	1	2
15. その他の化学製品	4	2	3
16. 紙・パルプ・印刷物	9	1	1
17. 糸・反物等の繊維素材	0	0	0
18. 衣類・布団等の繊維製品	1	0	0
19. 日用品	5	2	7
20. 引越荷物	0	0	2
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加	3	5	1
22. 機械ユニット・半製品	1	1	2
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	2	7	3
24. 家電・民生用機械	1	0	1
25. 完成自動車・オートバイ	0	0	2
26. 再生資源・スクラップ	1	0	0
27. 廃棄物	0	2	0
28. 宅配便・特積貨物	0	0	0
29. 空容器・返回送資材	0	1	0
30. その他	3	4	4
31. 未回答	1	10	21
合計	58	58	58

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和6年1月～3月期)

※58社回答

実働率	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	1	1.7%	14	24.1%	26	44.8%	17	29.3%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	1	1.7%	9	15.5%	28	48.3%	19	32.8%	1	1.7%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	11	19.0%	26	44.8%	19	32.8%	2	3.4%	0	0.0%

実車率	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	1	1.7%	12	20.7%	31	53.4%	14	24.1%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	1	1.7%	10	17.2%	32	55.2%	14	24.1%	1	1.7%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	8	13.8%	37	63.8%	11	19.0%	2	3.4%	0	0.0%

ドライバーの過不足	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答	件数	%	件数	%		
今期の状況	11	19.0%	25	43.1%	21	36.2%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	18	31.0%	24	41.4%	15	25.9%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%

ドライバーの採用状況	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	9	15.5%	42	72.4%	4	6.9%	3	5.2%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	12	20.7%	39	67.2%	4	6.9%	3	5.2%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	12	20.7%	33	56.9%	7	12.1%	6	10.3%	0	0.0%

ドライバー以外の過不足	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答	件数	%	件数	%		
今期の状況	8	13.8%	18	31.0%	30	51.7%	2	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	13	22.4%	18	31.0%	26	44.8%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%

ドライバー以外の採用状況	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	1	1.7%	5	8.6%	50	86.2%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%
前期比	1	1.7%	3	5.2%	50	86.2%	2	3.4%	2	3.4%	0	0.0%
先行き	1	1.7%	8	13.8%	42	72.4%	5	8.6%	2	3.4%	0	0.0%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	3	5.2%	41	70.7%	14	24.1%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	4	6.9%	39	67.2%	15	25.9%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	6	10.3%	30	51.7%	22	37.9%	0	0.0%	0	0.0%

貨物の再委託の割合	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	1	1.7%	10	17.2%	33	56.9%	11	19.0%	0	0.0%	3	5.2%
前期比	1	1.7%	7	12.1%	39	67.2%	8	13.8%	0	0.0%	3	5.2%
先行き	0	0.0%	6	10.3%	37	63.8%	10	17.2%	2	3.4%	3	5.2%

経常損益	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	2	3.4%	13	22.4%	19	32.8%	21	36.2%	3	5.2%	0	0.0%
前期比	1	1.7%	12	20.7%	20	34.5%	23	39.7%	2	3.4%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	19	32.8%	19	32.8%	17	29.3%	3	5.2%	0	0.0%

業界の景況感	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %			
	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答	件数	%	件数	%		
前年同期比	0	0.0%	7	12.1%	31	53.4%	17	29.3%	3	5.2%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	6	10.3%	30	51.7%	19	32.8%	3	5.2%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	8	13.8%	25	43.1%	19	32.8%	6	10.3%	0	0.0%

今期の水準	件数 %		件数 %		件数 %			
	1.良い	2.ふつう	3.悪い	4.未回答	件数	%		
	5	8.6%	34	58.6%	19	32.8%	0	0.0%

輸送数量全体	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.7%	15 25.9%	22 37.9%	17 29.3%	2 3.4%	1 1.7%
前期比	1 1.7%	9 15.5%	26 44.8%	19 32.8%	2 3.4%	1 1.7%
先行き	0 0.0%	10 17.2%	26 44.8%	17 29.3%	4 6.9%	1 1.7%

取扱い1位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.7%	16 27.6%	22 37.9%	17 29.3%	2 3.4%	0 0.0%
前期比	1 1.7%	9 15.5%	29 50.0%	17 29.3%	2 3.4%	0 0.0%
先行き	0 0.0%	13 22.4%	24 41.4%	17 29.3%	4 6.9%	0 0.0%

取扱い2位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	11 19.0%	24 41.4%	13 22.4%	1 1.7%	9 15.5%
前期比	0 0.0%	9 15.5%	28 48.3%	11 19.0%	1 1.7%	9 15.5%
先行き	0 0.0%	7 12.1%	23 39.7%	16 27.6%	3 5.2%	9 15.5%

取扱い3位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	10 17.2%	17 29.3%	10 17.2%	1 1.7%	20 34.5%
前期比	0 0.0%	7 12.1%	20 34.5%	10 17.2%	1 1.7%	20 34.5%
先行き	0 0.0%	5 8.6%	17 29.3%	14 24.1%	2 3.4%	20 34.5%

営業収入(売上高)	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.7%	15 25.9%	24 41.4%	16 27.6%	1 1.7%	1 1.7%
前期比	1 1.7%	10 17.2%	30 51.7%	15 25.9%	1 1.7%	1 1.7%
先行き	0 0.0%	17 29.3%	24 41.4%	13 22.4%	3 5.2%	1 1.7%

営業利益	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	2 3.4%	14 24.1%	22 37.9%	16 27.6%	3 5.2%	1 1.7%
前期比	1 1.7%	10 17.2%	24 41.4%	20 34.5%	2 3.4%	1 1.7%
先行き	0 0.0%	21 36.2%	20 34.5%	13 22.4%	3 5.2%	1 1.7%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	1 1.7%	12 20.7%	41 70.7%	3 5.2%	0 0.0%	1 1.7%
前期比	0 0.0%	14 24.1%	40 69.0%	3 5.2%	0 0.0%	1 1.7%
先行き	0 0.0%	27 46.6%	30 51.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%

適正運賃の收受について

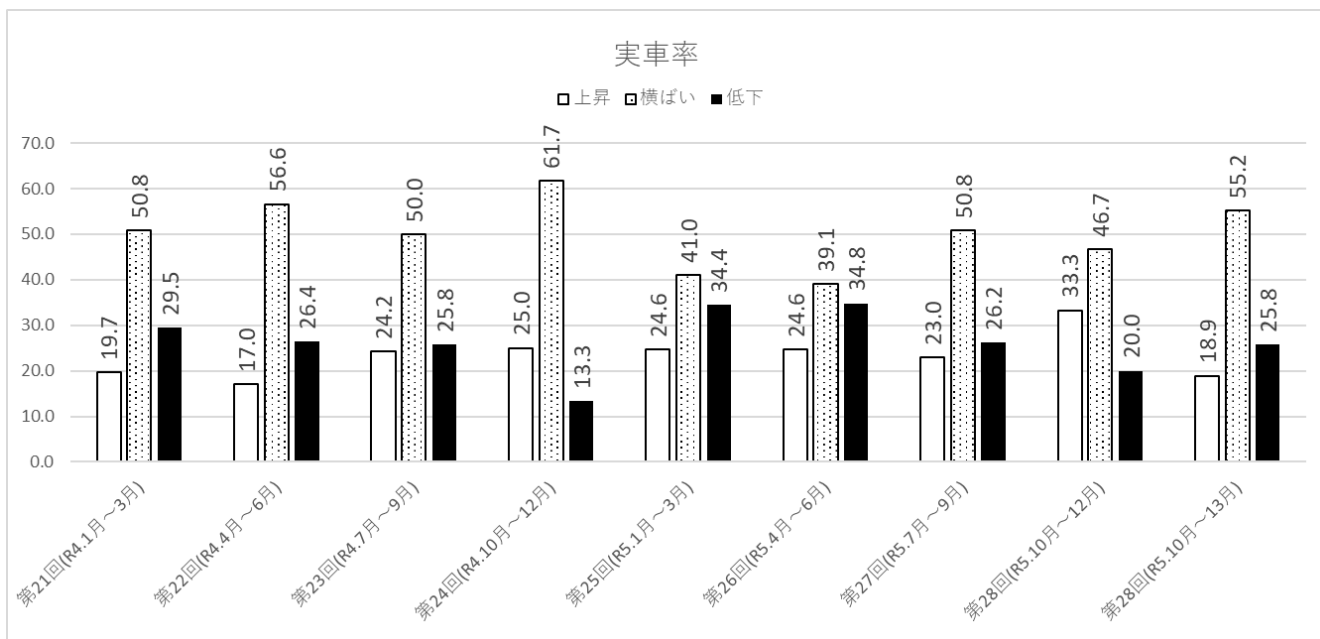
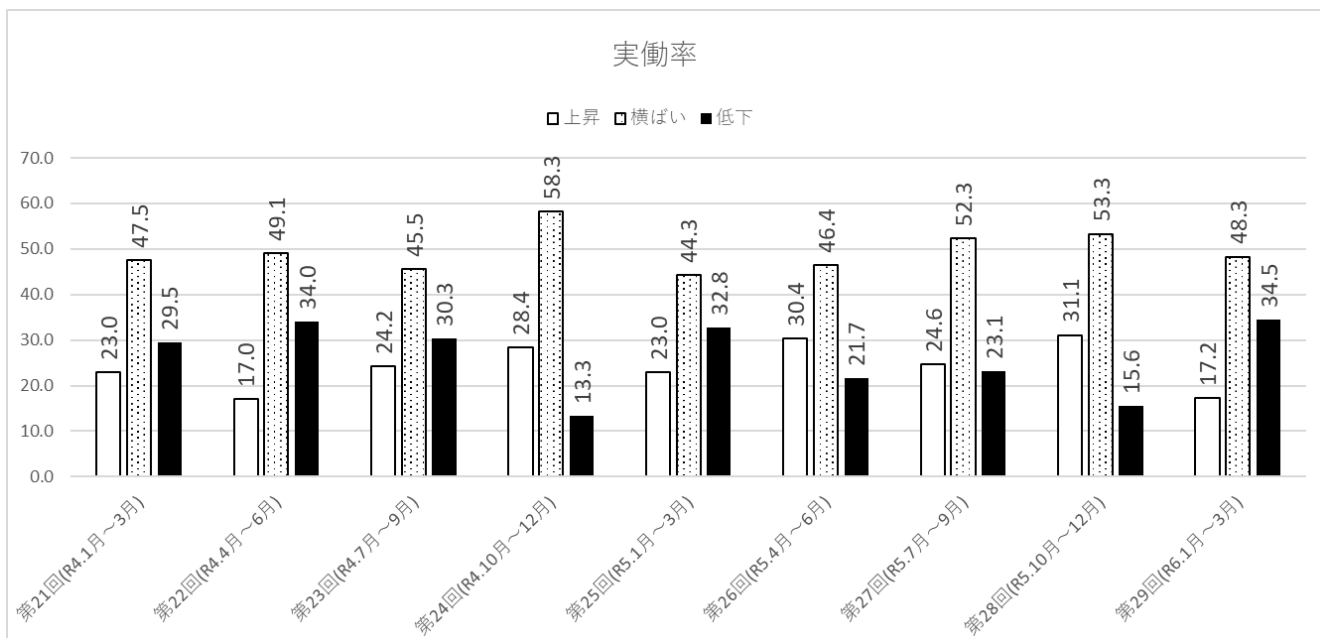
運賃交渉の状況	標準的な運賃を提示	標準的な運賃を考慮した自社運賃を提示	具体的な値上げ額や値上げ率を提示	提示していない(既存の自社運賃)	未回答
	13 22.4%	26 44.8%	25 43.1%	6 10.3%	5 8.6%

原価の反映	人件費	固定費	燃料費	実費	積み込み料等
	32 55.2%	17 29.3%	30 51.7%	13 22.4%	4 6.9%

待機料	付帯業務	改定なし	未回答
11 19.0%	7 12.1%	5 8.6%	7 12.1%

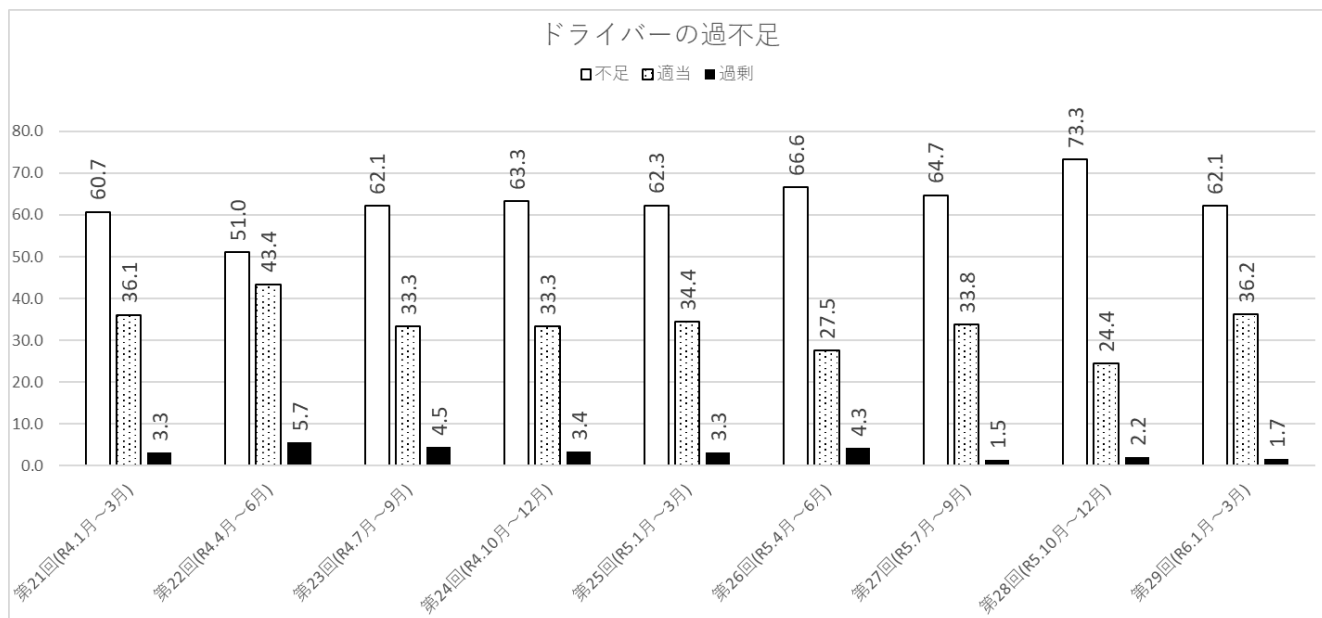
○実働率・実車率

実働率の前期比について、「上昇」が 13.9 ㊦減少し、「横ばい」が 5.0 ㊦微減しており、「低下」は 18.9 ㊦上昇した。実車率については「上昇」が 14.4 ㊦減少し、「横ばい」が 8.6 ㊦増加し、「低下」は 5.8 ㊦上昇した。



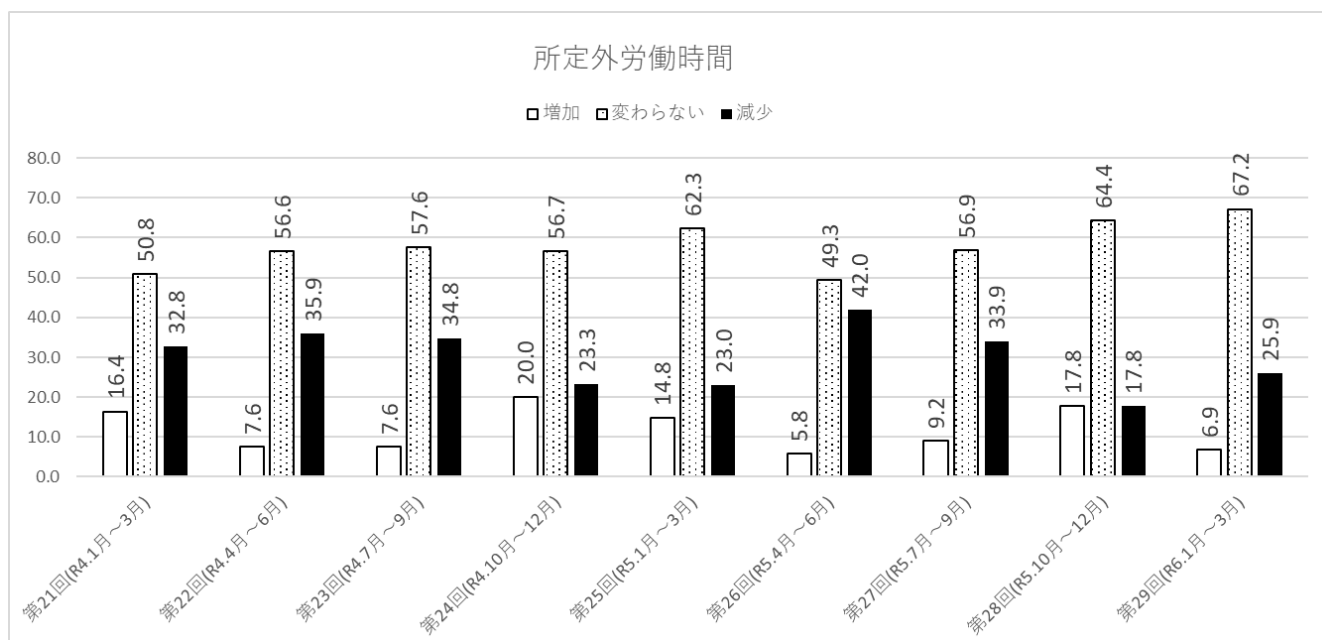
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について今期の状況は、「不足」との回答が減少しているものの、依然として6割以上の事業者が不足と感じており、多くの事業者においてドライバーが不足している状況であった。



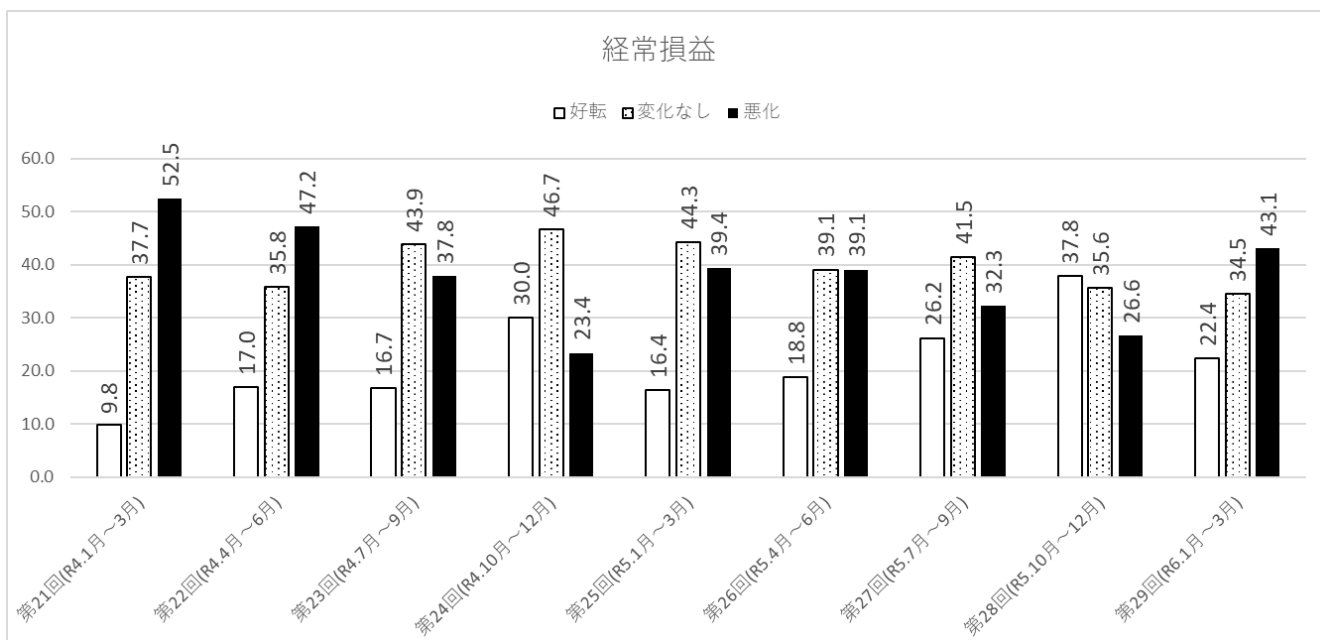
○所定外労働時間

所定外労働時間について、「増加」が10.9%減少し、「減少」が8.1%増加していた。荷動きの停滞の影響により一人当たりの所定外労働時間が減少しているようであった。



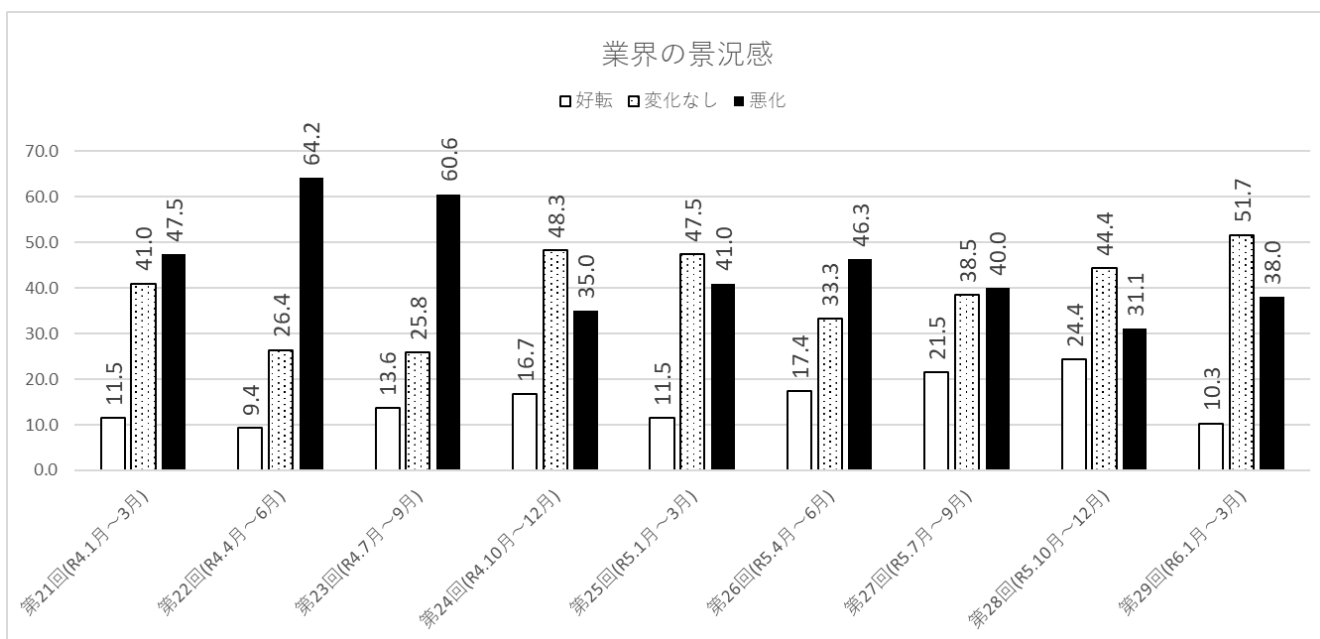
○経常損益

経常損益について、「好転」との回答が15.4 ㊦減少しており、「悪化」は16.5 ㊦増加している。前回の調査に比べると悪化したと感じている事業者が多く、依然として厳しい状況であった。



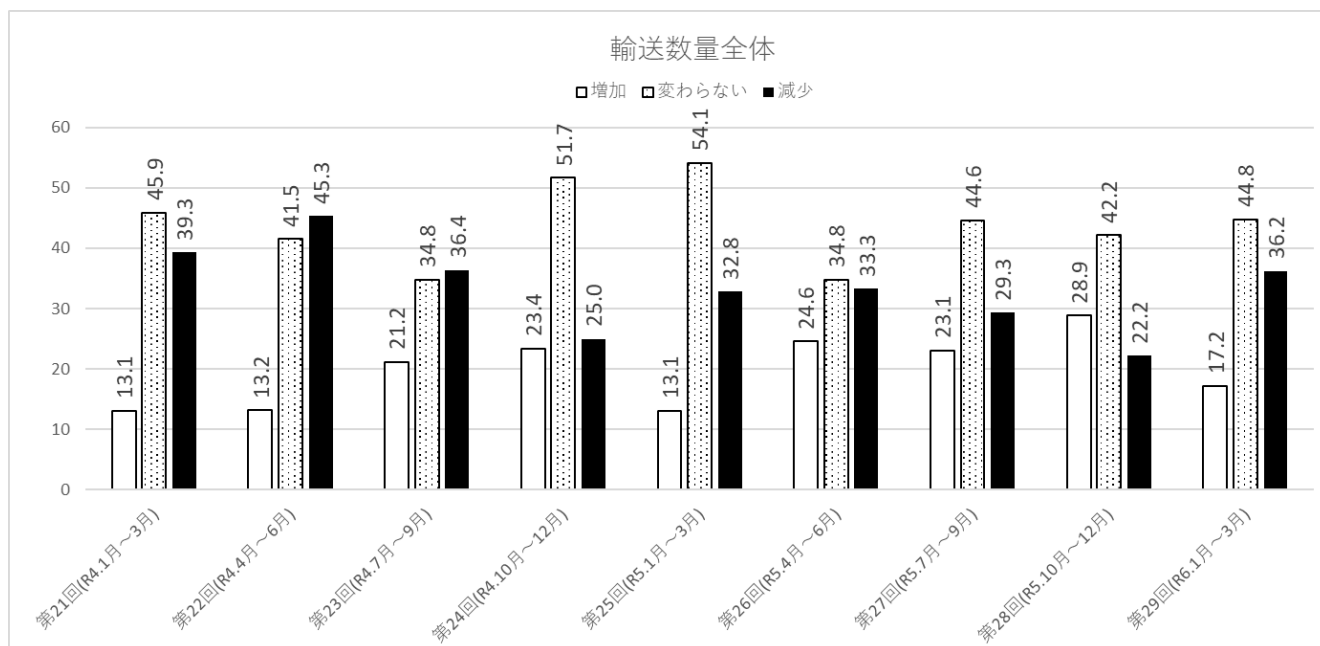
○業界の景況感

業界の景況感について、「好転」が14.1 ㊦減少しており、「変化なし」が7.3 ㊦増加、「悪化」は6.9 ㊦増加している。前回の調査に比べ「好転」との回答が大きく減少し、業界の景況感に停滞感が見受けられた。



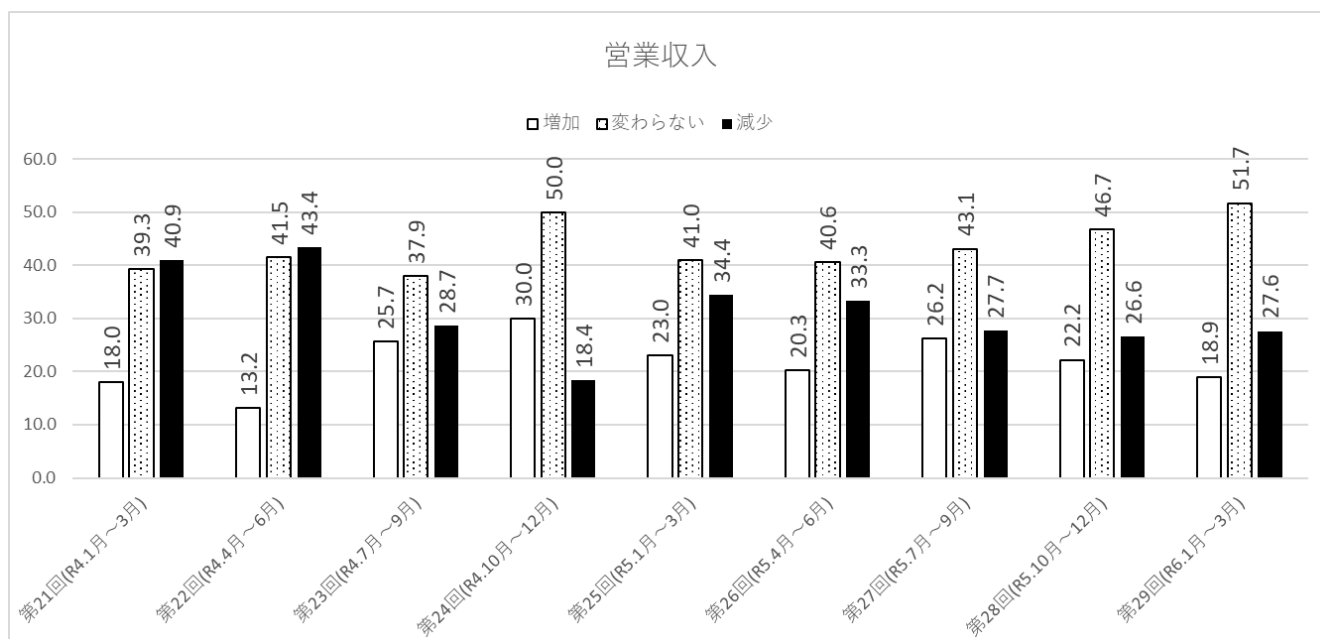
○輸送数量

輸送数量について、「増加」との回答が 11.7 ㊦減少し、「減少」との回答が 14.0 ㊦増加している。「変わらない」との回答も多く、荷動きの停滞感が見受けられた。



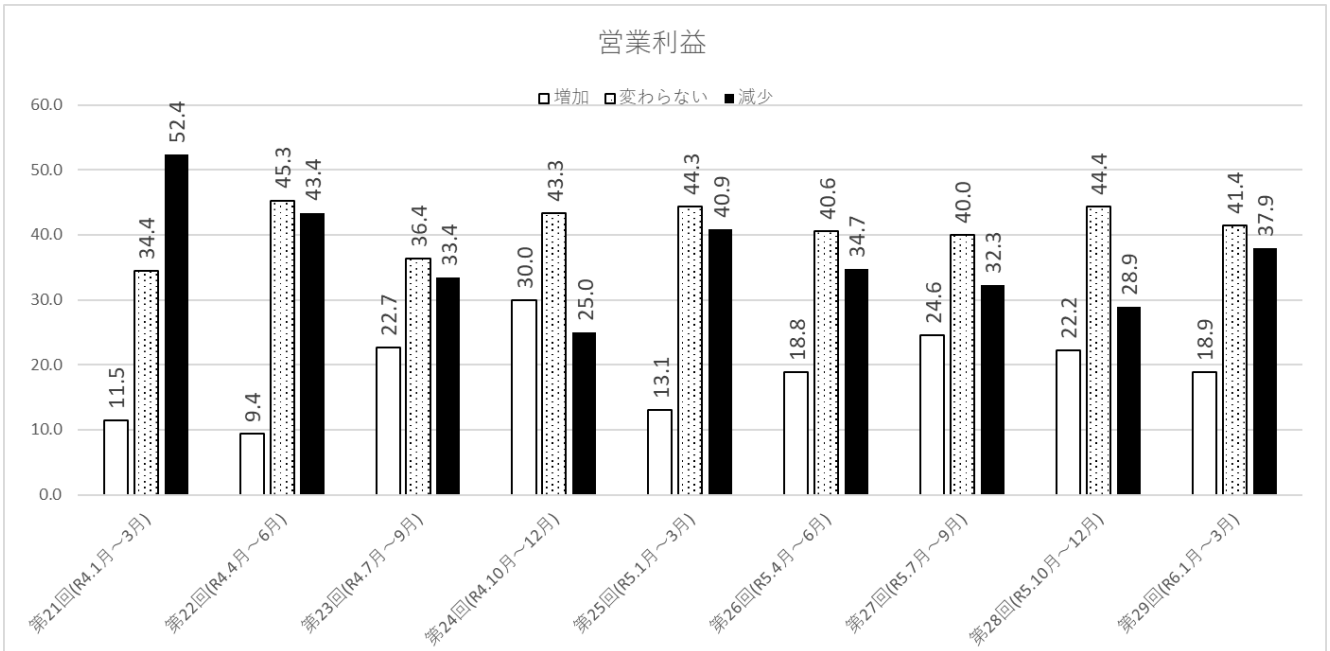
○営業収入

営業収入について、「増加」が 3.3 ㊦微減し、「減少」が 1.0 ㊦微増しており、事業者の売り上げについて、前回の調査から大きな変化はなかった。



○営業利益

営業利益について「増加」が3.3 ㊦微減し、「減少」が9.0 ㊦増加していた。営業利益が減少していると回答した事業者が3割を超えており、厳しい状況が続いている。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について、「上昇」との回答が2.6 ㊦微減し、「低下」との回答が5.2 ㊦増加していた。「低下した」との声もあるものの、運賃・料金の水準は堅調に推移しているようであった。

